

平成23年千葉市教育委員会会議  
第8回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成23年千葉市教育委員会会議第8回定例会会議録

日時 平成23年8月17日(水)

午後2時00分開会

午後2時25分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 内山 英夫  
 委 員 梅谷 忠勇  
 委 員 津田 英彦  
 委 員 和田 麻理  
 委 員 篠原ともえ  
 教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 次 長 武田 昇 保健体育課長補佐 三橋 和生  
 教 育 総 務 部 長 竹川 幸夫 教育センター所長 戎谷 雄二  
 学 校 教 育 部 長 三野宮純一 養護教育センター所長 沼倉 徹  
 生 涯 学 習 部 長 千本松隆俊 生涯学習振興課長 杉戸 利一  
 総 務 課 長 初芝 勤 社会体育課長 成毛 博光  
 企 画 課 長 高須 右一 中央図書館長 入江 稔  
 学 校 財 務 課 長 伊藤 太一 総務課総括主幹 久我 千晶  
 学 校 施 設 課 長 小野 正嗣 学事課調整主幹 古館 生雄  
 学 事 課 長 佐藤 宏喜 総務課主幹 内山 健  
 教 職 員 課 長 真田 清貴 生涯学習振興課主幹 塚越 達雄  
 指 導 課 長 磯野 和美

書 記 総務課長補佐 南 久志 総務課経理係長 滝田 希成  
 総務課委員会係長 山本 春樹 総務課主査補 諏訪 瑞穂  
 総務課総務係長 小柳 寛 総務課主任主事 藤井 拓也  
 総務課人事係長 鴫田 昌奈

- 1 開会  
内山委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
内山委員長より篠原委員を指名
- 4 会期の決定  
平成23年8月17日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 会議録の承認  
平成23年第2回臨時会会議録を全委員異議なく承認
- 7 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
議案第56号を非公開審議とする旨決定
  - (2) 報告事項  
報告事項(1) 平成23年度「子ども議会」について  
指導課長より報告があった。  
報告事項(2) 第64回千葉市中学校総合体育大会の結果について  
保健体育課長補佐より報告があった。
  - (3) 議決事項  
議案第56号 工事請負契約について  
学校施設課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
  - (4) 発言の要旨  
報告事項(1) 平成23年度「子ども議会」について  
内山委員長 指導課長、報告をお願いします。  
指導課長 報告事項(1)「平成23年度『子ども議会』について」、報告します。  
去る7月29日、千葉市議会本会議場にて、子ども議会を開催しました。子ども議会は本市の将来を担う子どもたちが、千葉市の現状と課題について話し合い、「市民一人一人がいきいきと幸せに暮らせるまちづくり」に向けた具体的な提案・質問を行う中で千葉市民としての意識を高められるようにすることを目的と

し、昨年度より新たにスタートした事業です。当日は市長、両副市長、各局長を初め、千葉市議会議長、副議長の出席のもと、公募及び学校から推薦された中学生、高校生66人の生徒が子ども議会議員として参加しました。今年は震災による計画節電に配慮した取組みを進め、区ごとのグループに分かれて地域の課題に基づいて話し合い、市政への提案・質問を行いました。また、子ども議会議員の提案・質問に対しては、市長、副市長、関係局長がその場で答弁を行いました。それぞれのグループでは、区の特色により、自然との調和を目指した取組みや、人と人との結び付きを深める取組み、地域の文化振興や市民のマナーの改善など、行政に積極的に取り組んでほしいことや、自分たちの果たすべき役割について考え、提案・質問を行いました。市長、副市長、関係局長の答弁には、子ども議会議員の提案・質問に対して、わかりやすい説明と励ましの言葉が織り込まれ、66人の子ども議会議員も、充実感を味わうことができたと思います。熊谷市長からは、子ども議会での提案は市政に反映させていくこと。2点目として、提案するだけでなく自ら実践していくことが大事であり、積極的に行動して、自分たちのまちを身近に感じて欲しいこと。3点目として、自分の立場から意見を伝えていくことが、これからのまちづくりにつながることといった講評がありました。今後は子ども議会の提案・質問と答弁を整理し、子ども議会議員の事後のレポートを踏まえて、報告書を作成する予定です。

和田委員 私も当日子ども議会を傍聴し、とても楽しく有意義に過ごさせていただきました。子どもとは言いましても、中学生、高校生ですので、非常に積極的にそれぞれの区の課題に取り組んでいて、また、自分たちでしかできないような調査の仕方なども織り込まれていました。特に、プレゼンテーションに非常に工夫をしているグループや、アンケートなども実施したというグループもありました。一步踏み込んだ調査をして発表しているということに驚くと同時に、中学生、高校生が市政に興味を持ってくれるという、その端緒となったことに対して、非常に良い事業であると感じました。

2点ほど、伺います。それぞれの区ごとに、2つのグループに分けて、テーマを選んでいろいろと討論をしていたようですが、このテーマの選び方は、完全に子どもに任せていたのでしょうか、それともある程度、この区ではこのような課題があるということ

を与えたのでしょうか。もう1点は、議会に至るまでに、何回かグループで集まって話し合いを重ねて、また、いろいろな方からご指導もいただいています。その指導をされた方と、その指導の方向などもお聞かせいただければと思います。

指導課長 事前の勉強会には篠原委員、当日には和田委員にも出席いただき、本当にありがとうございました。

今の2点の質問ですが、テーマ決めに関しては、子どもたちが自分たちのまちのスローガンを決めて、それをもとに自分たちのまちのことについて考えていこうということで、こちらが意図したものではありません。初めは、緑区などは、震災の関係で交通網のことで稲毛高校の子たちが帰れなかったということなどもあったのですが、それよりも、外国人が増えてきたなど、もっと身近なところにテーマが決められました。グループの事前勉強会の件については、これは指導課の指導主事と、こども未来局こども企画課の職員があたって、事前学習の勉強会を実施しました。また、事前に調べてわからなかったことに関しては、各局にもお願いし、そこで回答したという状況です。

和田委員 子ども議会というと、本当に子どもというような感じがするのですが、このネーミングがいい意味でふさわしくないような気がしまして、もうちょっと大人扱いしてあげられるようなネーミングがあったら良いのではないかと感じました。それと、やはり学校推薦の中学生、高校生も多いということで、非常に優秀というか、いろいろ考えも深いですし、発表の仕方も優れていて感銘を受けました。これはなかなか実現が難しいと思うのですが、実際になかなか学校の推薦に上ってこないような、例えば学校にあまり行きたくないと思っているような中学生、高校生が本当にどんなことを望んでいるのか、どんなことを思っているのかというようなことを、こういった場で取り上げて、言いたいことを言えるような場所があったら、それはそれで素晴らしいなど、私見ではありますが、思いました。それから、プレゼンテーションの方法が、あるグループで大変優れていたと申し上げたのですが、これからの子どもたちに必要なことだと思いますので、人の前で、どれだけ引き付けるような発表ができるかといったことも、もう一歩進んで、今後ご指導いただければと思います。

篠原委員 子ども議会、とても有意義に過ごされたと思うのですが、これで終わりではなくて、中学3年の子どもたちは、これから受験

に向かっていかななくてはいけないので、なかなか難しいと思いますが、できれば、ここでせつかく発表したことを、ここで終わるのではなくて、何かほかの機会を作ってあげるような、そういうことがないのかなということをも思います。何かあるのでしょうか。

指導課長 子ども議員の選出方法も非常に難しい状況の中で、教育委員会としては、学校で今、主に活躍している子どもたちが参加できるように、大会、総体等も入る日程の中で、実施した状況もあります。ただいま、ご指摘のあった件は、今後各学校で、市長からのコメントにもありましたように、各学校でこれを広めていただく、区で広めていただくということで、10月に生徒会交流会を開催していますので、それが継続して取り組めるようにそこでまた指導していきたいと思っておりますし、冒頭申し上げたように、報告書を各学校に配布して、有効に役立てていただきたいと考えています。

梅谷委員 報告書の作成では、子ども議会で子どもたちが提案して質疑がなされ、その結果をまとめて、それで一応終わりになるのかと思います。それに対して、何らかの活動をされるのだと思うのですが、その成果と言ったらいいのか、このようなことをして、こうなりましたというような内容の報告はされるのでしょうか。

指導課長 先ほどもありましたように、議会の本来の中で子どもたちがこの体験を通して学んだことのまとめになるかと思いますが、今のご指摘のとおり、これから3月までは学校で活動ができますので、そういったものも反映できるような報告書の工夫を検討してみたいと考えています。

報告事項(2) 第64回千葉市中学校総合体育大会の結果について

内山委員長 保健体育課長補佐、報告をお願いします。

保健体育課長補佐 報告事項(2)「第64回千葉市中学校総合体育大会の結果について」、報告します。

まず、7月16日～22日の7日間にわたり開催しました「千葉市中学校総合体育大会」は、大会の後半で台風の接近に伴い、予定より1日延期しましたが、無事終了することができました。大会2日目の17日には、教育長・学校教育部長による視察がありました。

県の総合体育大会は7月26日から7月31日まで、関東大会は8月6日から11日まで開催されました。関東大会の剣道につ

いては、千葉ポートアリーナで開催されました。なお、全国大会については、8月17日から25日までの期間、近畿ブロックで開催される予定です。市・県・関東大会の結果及び全国大会の出場予定ですが、団体種目では市大会において、バレーボール女子で誉田中学校、バドミントン男子で貝塚中学校、柔道女子で幕張本郷中学校が、3年連続優勝を果たし永久杯を獲得しました。県総体では、水泳競技女子では千葉支部、バレーボール女子では誉田中学校、ハンドボール女子では花園中学校、剣道男子では幕張本郷中学校が優勝しました。

次に、関東大会の成績を報告します。団体種目では、剣道男子で幕張本郷中学校が優勝し、全国大会に出場します。個人種目では、陸上競技の共通砲丸投男子で、「●●●中学校 ●●●●」が優勝しました。体操競技の個人総合男子で、「●●●中学校 ●●●●」が総合第4位に、「●●●●中学校 ●●●●」が総合第7位に入りました。新体操の個人総合女子で、「●●●●中学校 ●●●●●」が優勝、「●●●中学校 ●●●●」が第3位に、「●●●●中学校 ●●●●」が第4位、「同校 ●●●●●」が第7位に入りました。卓球シングルス女子では、「●●●●中学校 ●●●●●」が優勝しました。相撲個人戦男子では、「●●●中学校 ●●●●●」がベスト8に入り、それぞれ全国大会出場を果たしました。全国大会には、団体1種目7人と、個人6種目21人の計28人が出場する予定です。なお、新体操個人総合で昨年度全国優勝した「●●●●中学校 ●●●●●」が今年も全国大会に出場しますので、その活躍が大いに期待されます。

内山委員長 私は、陸上競技の關係に携わっていますけれども、毎年ではあります、最近ここ数年間で、棒高跳、1500m走、昨年は走高跳で2位でしたか、全国大会でも優秀な成績を挙げています。今年も期待したいところです。よろしくお願いします。

議案第56号 工事請負契約について

委員長 学校施設課長、説明をお願いします。

学校施設課長 議案第56号「工事請負契約について」、説明します。

千葉市立真砂中学校大規模改造工事を行うための工事請負契約を締結するよう市長に申し出ることについて、千葉市教育委員会組織規則第8条第3号の規定に基づき、議決を求めるものです。

工事名称は千葉市立真砂中学校大規模改造工事、施工場所は千葉市美浜区真砂5丁目18番2号です。契約方法は制限付一般競

争入札、契約金額は3億450万円です。請負者は千葉市中央区本町1丁目5番12号、松栄・常盤建設共同企業体です。工事概要は、真砂中学校の本校舎となる、旧真砂第一中学校の校舎棟及び屋内運動場棟の内・外壁の塗替え、トイレ改修、バリアフリー化等の改修及び耐震補強工事を実施するもので、完成期限は平成24年6月30日、供用開始は、夏休み期間中に仮設校舎から引っ越しを行った後の9月からとなります。

## 8 その他

(1) 教科書採択について、内山委員長より所見が述べられた。

内山委員長 先般の教科書採択では、みなさんにご議論いただき、無事終了できました。ただ、特に歴史の問題で、いろいろと議論がありましたので、考えてみましたけれども、私はこのように思いました。まず歴史ですが、日本史と世界史を、百数十ページ内に収めるという大変な科です。そしてたくさんの地域がありますけれども、それらを取捨選択する、あるいは何か自分なりの立場で、意見を申すというようなことで、7冊の教科書それぞれに特色があったと思います。それもみな、専門家の方々が、一生懸命検討した結果ですから、まあ大体95点から85点というような感じの印象を受けました。私は、海外紛争と日本の文化という切り口で、7冊の教科書を比較してみました。いろいろ差異があります。ここで子細は触れませんが、例えば源氏物語では、これは紫式部が書いたというだけではなくて、ある教科書によりますと、日本最古の女性の長編小説であるというような文言がついています。こういったことを申し述べれば、生徒はまた違った思いでその言葉を受けるのではないかと思います。それから、選択の問題は終わりましたけれども、教員の皆さんがこれから勉強して、我々が選んだ教科書、東京書籍について勉強する訳ですが、できれば、他の教科書についても比較検討していただいて、自分なりの教える内容を組み立ててもらえればと思います。これは皆さんのこれからの賢才により、生徒が感動を持って、あるいは日本の文化を非常に自慢できるような何かいい印象を持って、1年が終わるようにできればと思っています。そういった意味で、教員諸君のこれからの活躍に期待しますので、よろしくお願ひします。

(2) 次回第9回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

## 9 閉会

内山委員長より閉会を宣言